

題材 世界を支える水道へ

私たちの普段の生活に、水道水はどのくらい関わっているでしょうか。飲み水としてはもちろん、料理、洗濯、お風呂、掃除、水洗トイレなど様々な用途に使われています。このような人間は、朝起きてから夜寝るまで、あらゆる場面で水道水と関わっています。暮らしに水道があることを当たり前に感じている人もいると思います。しかし、私は水道水があることは当たり前のことではないと思います。このように考えるようになったきっかけは東日本大震災です。

私の祖父母の家は福島県いわき市にあります。震災で水道やガス、電気などのライフラインが全て止まりました。水道は約一か月止まり、大変だったと聞きました。

いつでも蛇口をひねれば水が出る水道。しかし、いつでもではありません。思い知りました。また、いかに水道が私たちの暮らしを支えているか実感しました。

私は長期間の断水は経験したことがありません。

せん。もし今、長期間断水したとしたら、私たちの生活は想像がつかないほど大変になると思います。

「水道」というひとつのものが止まるだけで、私たちの生活は大きく変わります。いつでもどこで断水が起ころかは誰も分かりません。だからこそ、今水道が使えている、というところに感謝するべきだと思います。

しかし、そうは言っても災害などが無い限り、日本では毎日綺麗で美味しい水道が使えています。一方世界では、水道が無く、片道何時間もかけて水汲みに行っている人々、決して綺麗とは言えない濁った水を飲まざるを得ない人々などが大勢います。逆に、日本のように綺麗で美味しい、安全、安価の水道水を使うことが出来る国の方が少ないです。私は全ての国で、水道が不便なく使える、暮らして支える存在になっ、てほしいです。

日本の水道が充実していることは、とてもありがたいことです。自分たちが使えている

から満足、ではなく、世界中が日本と同じく
 らい水道を使えるように変えていくべきです。
 私は日本の水道水を使うことができていて、
 とても幸せです。このような幸せを、世界中
 の人々にも感じてもらいたいです。
 いては、私になにができるのか。私が世界に
 綺麗な水道を普及させるために各国をまわる、
 これは現実的ではありません。しかし、水資
 源を大切にすることならできると思っています。
 シャワーの水をこまめに止める、歯を磨いて
 いるときに水は出し続けられないなど、節水をバ
 げることもなら誰でもできます。私は、この
 ような節水を世界のために行いたいと思いま
 す。
 地球は「水の惑星」と呼ばれています。飲
 み水がたくさんあるように思いますが、もしも
 ん。しかし、地球の「水」のほとんどは海の
 水で、実際に飲むことのできる水は限られて
 います。そんな限りのある水を、ましてや
 自由に使えない人が大勢いるのに、不自由な

題材

く使える私たちが無駄遣いしてはいけないと
思います。

世界中の全ての人々が水道を不便なく使え
る日はやく訪れること、水道が暮らしを支
える存在になることを、私は願います。そし
て私は、今も暮らしを支えてくれている水道
水に、また、水道に関わる仕事に就いている
方々への感謝を忘れず、過ごしていきたいと
思います。

年組番氏名